

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4570102352		
法人名	有限会社高木ライフ企画		
事業所名	グループホームさんあい		
所在地	宮崎県宮崎市老松1丁目6番19号 (電話) 0985-83-2628		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成21年6月23日	評価確定日	平成21年7月30日

【情報提供票より】 (平成21年5月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年4月21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤6人, 非常勤0人, 常勤換算4.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建て	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,500~45,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	8名	男性 1名	女性 7名
要介護1	1	要介護2	1
要介護3	5	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 83歳	最低 73歳	最高 93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高木内科・胃腸科
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームさんあい(燦愛)は宮崎市街地の活気にあふれた住宅地にある。地域密着型サービスの意味をよく理解し、地域の中でその人らしい暮らしが実現する事を念頭に掲げ、住み慣れた地域で安心した暮らしが送れるよう理念が作りあげられている。職員の異動や離職はなく、安定したサービス提供が行われている。異動や離職がやむを得ない場合は、顔なじみであるデイサービス職員の異動を検討する等、利用者のダメージを最小限に抑える努力も行われている。ホームでの生活を体験できる入所体験サービス制度もある。利用者は、旬の食材である野菜、果物に触れる機会が多く職員も利用者と同じ食事をする等、味、時間、思いをゆったりとした時間の中で共有している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価の結果を職員へ伝え、改善計画シートを活用した具体的な見直し箇所の確認は行われているが、全職員による改善に向けた具体的な取り組みには至っていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は一部の職員だけで行われていた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議のメンバーに地域包括支援センター職員を加え状況報告および意見を交わしているものの、運営推進会議は年1回しか開催していない。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族便りやホーム便りの発行はなく、遠方の家族は電話報告が主体である。来訪時に直接報告できる家族もいるが、頻度に差がある事から、きめ細かな報告には至っていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に入会し、ふれあいサロンで行われている勉強会へ出向く等、地元の人々と交流している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意味をよく理解し、地域の中でその人らしい暮らしが実現する事を念頭に掲げ、住み慣れた地域で安心した暮らしが送れるよう理念がつくりあげられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を実践に生かすべく朝礼やミーティング、全体会議の際には必ずふれ確認をし合うように努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、ふれあいサロンで行われている勉強会へ出向く等、地元の人々と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員へ伝え、改善計画シートを活用した具体的な見直し箇所の確認は行われているが、全職員による改善に向けた具体的な取り組みには至っていない。自己評価も一部の職員だけで行われていた。	○	自己評価は項目一つひとつを全職員で点検していく過程が重要であり、改善に向けた実践が全職員によって継続的に行われる事を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーに地域包括支援センター職員を加え、状況報告および意見を交わしているものの、運営推進会議は年1回しか開催していない。	○	基準第85条第1項に定める運営推進会議は、おおむね2ヶ月に1回以上の活動状況の報告を行い評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴く機会を設ける事となっている事から、これまで以上の積極的な開催が行われる事を期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、施設本部長（施設責任者）が市担当者と連携を図りサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	金銭出納帳簿等の活用を図り、定期的に家族確認を行いサインをもらっている。家族便りやホーム便りの発行はなく、遠方の家族は電話報告が主体である。来訪された時に直接報告できる家族もいるが、面会頻度に差がある事からきめ細かな報告には至っていない。	○	遠方に住んでいる家族や来訪回数が少ない家族もいる事から、家族が知りたい要点を考慮しながら、報告手段の一つとなる定期的なホーム便りや家族便りが発行される事を期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来訪時に管理者が声かけを行い気軽に話せる機会を設けているが、意見や不満を表出させる仕組みがない。	○	ご意見箱の設置が検討されているが、設置までには至っていない。家族等は意見や不満、苦情を言い出し難いと言う事を理解し職員や事業所側から意見を積極的に聴く努力や場面づくりがされる事を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職はなく安定したサービス提供が行われている。異動や離職がやむを得ない場合は、顔なじみであるデイサービス職員の異動を検討する等、利用者のダメージを最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修会や報告会等にはなるべく多くの職員が受講できるようにしている。また、それらの研修会等に参加した職員は、復命書を提出すると共に、全体会議の中で報告を行い参加できなかった職員の資質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会やブロック研修会に積極的に参加しており、事業所が提供するサービス水準の向上につながっている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前に面談の回数を増やし、利用者や家族が納得した上で安心してサービスが利用できるよう取り組んでいる。ホームでの生活を体験できる入居体験サービス制度もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考え方を職員は共有し、共に支えあえる関係づくりが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常日ごろから利用者の話に耳を傾け、表情や言葉等から希望や意向の把握に努めている。聞き取った内容は記録にとどめ実践に生かす試みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人の意向を確認し、職員間で課題となる事を話し合った内容を介護計画に反映しているが、カンファレンスに家族が参加されていない状況がある事から、家族としての意見が反映されにくい状況がある。	○	職員の意見だけではなく、利用者本人をよく知る家族や関係者と話し合い、意見やアイデア、要望を反映させた利用者本位の介護計画となる事を期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとの定期見直しは行われているが、利用者の状態に応じた随時の見直しは行われていない。	○	介護計画の遂行状況および効果等を評価すると共に、現在行っている3か月ごとの見直しに加え、利用者の状態変化や家族、利用者本人の要望に応じた見直しが随時行われる事を期待したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者本人、家族の状況に応じて介護タクシーや同法人所有のデイサービス用車両等を使った通院や送迎支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。法人の母体が医療法人である事から適切な医療が受けられる体制がある。ホームで作成した受診票を活用する事で申し込み等も確実に行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期にある利用者を受け入れる体制がない事を入居前に相談し納得した上で利用者本人および家族等は利用している。法人母体である病院の主治医と意見を交わし、全員で終末期における方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	さりげない言葉かけを行い、利用者の誇りやプライバシーを損ねない徹底した対応が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりが本来持っているペースを大切にしている事から、利用者の過ごし方や状態に配慮した支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は旬の食材である野菜、果物に触れる機会が多く楽しく食事ができる雰囲気がある。職員も利用者と同じ食事をする等、味、時間、思いをゆったりとした時間の中で共有している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回と決まっており、利用者の希望する日、時間に合わせた支援には至っていない。	○	入浴日や時間は職員が一方的に決めず、一人ひとりの生活習慣やその時々希望を大切に支援が行われる事を期待したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の暮らしを共にする中で、利用者の生活歴や力を把握し、役割や楽しみ事を見出している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの公園等へ出向き、気分転換やストレスの緩和を図っている。近くの散歩だけではなく、美術館へ行き帰りはレストランで食事をする利用者もいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。外へ出向きたいと望む利用者には、職員が同行する等の配慮がされている。管理者は、鍵をかける事による心理的な不安や閉塞感等を職員へ伝え、自由な暮らしが実現できるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	木造建築で入り組んだ構造となっている上に、2階からの避難口となる階段が一箇所しかなく急勾配である。いざと言う時に職員が慌てず確実な避難誘導を行う為には年1回の防災訓練だけでは不安がある。	○	職員だけによる利用者誘導の限界を具体的に確認し、日ごろより地域住民や警察署、消防署、自治会等との連携を図り、ホームの災害時対策に関する理解を求め協力体制を築いていく事と、具体的な想定訓練が定期的に行われる事に期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量をチェック表に記録し職員間で利用者の状態を共有できるようにしている。また、一人ひとりの嗜好を把握し献立に採り入れながら、能力に応じた支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家の素朴さが強調され生活感や季節感があふれている。ソファやテーブルの配置にも利用者が使いやすいようにとの配慮がある。施設感はなく、のんびりとした居心地の良い共用空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりが、なじみの深い使い慣れた物を家族の協力の下ふんだんに持ち込まれ、本人にとって居心地の良い部屋となっている。		

※  は、重点項目。